

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年6月9日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>BAMBOO COMICS REIJIN uno! クソアンチ♥ラブデストロイ</p> <p>令和3年4月21日発行</p>	<p>性器の修整が不十分で、体液、擬音の描写も多い。成人向けとして販売した方がよい。指定該当。</p> <p>絵柄はきれいですっきりとしていて、卑わい感を感じられない。若干の暴力描写、器具の使用、拘束はあるものの「正当防衛」のロジックも用意されており、人格否定と言うには難しさを感じる。しかし、性器の「消し」が甘く、形状がわからずであり、指定該当。</p> <p>全体的に性器の修整がやや甘く、特に局部のアップシーンが目立つ。後半にかけて、体液描写が多く、器具の使用もあり、卑わい感を強く煽っていることから、成人向き作品と考える。指定該当。</p> <p>物語の導入部分が強制的にみえるが、ギリギリでセーフ。しかし、性器の消しの甘さと登場回数が青年レベルをこえている。指定該当やむなし。</p> <p>5つの話があり、性的シーンが多い。表題作では、脅迫、暴力、拘束の描写があり、人格否定と捉えそうだが、すぐさま条例に該当するとまではいえないと思う。ただし、性的シーンが多く、性器の消しが透けて見える。指定該当。</p> <p>オムニバスのようになっているので性行為の回数が多い。画力があり、必然的に擬音、体液描写が増え、性器の修整も甘く感じる。設定は相思相愛であるが、あまりにも露骨な性描写の数が多く、中高生が読むとするならば、問題があると感じざるを得ない。指定該当やむなし。</p> <p>物語の設定はあるが、拘束して自由を奪った後に同意の無いまま性行為に及ぶというストーリーは青少年に誤解を与えかねない。後半にも同意なく始まるセックスが描かれている。性器の修整は一応されているが、消しの甘い箇所がたびたびある。大腿部を大きく開く構図が多く卑わい感が強い。指定該当やむなし。</p> <p>性器は修整されているが、主線を白線にするなどにより、形状も動きも認識させている。擬音や体液描写についてもシャープな絵柄と効果的にマッチしており、実際の分量よりも濃密な印象を与えている。成人向き。指定やむなし。</p> <p>1話から3話まではストーリーが続いているが、身体を拘束した上でのセックスで強制的なシーンが多くみられる。性器は修整されてはいるが、形状が分かる状態。背後からの結合描写や擬音、体液描写が激しく卑わい感もある。性的感情を刺激する。指定該当。</p> <p>全体的に性描写の場面が多く、性器は修整されているとはいえ、形状もわかる描き方をしている。体液の描写も多いと思う。局部のアップもあり、指定該当。</p> <p>短編集であるがいずれも性行為の描写が多く、性器の描写には配慮されているが、擬音、体液の描写も多い。最初のストーリーは、小説家とそのファンという心理的に一方的な関係であり、恐喝と暴力が恋愛に変化しているが、基本的に人格否定的である。他のストーリーも器具などを使用し、卑わいな感情をあおる面を否定できない。指定該当。</p> <p>性器の修整が甘い部分が見受けられ、一部の場面で擬音、体液の描写が激しい部分が見受けられるが、許容範囲と考える。ただし、序盤の首を絞めて性行為におよぶ場面で、鼻血を出している描写など青少年が読むには刺激が強いシーンもある。指定やむなし。</p> <p>性描写が多く、性器の形状が分かる等修整が甘いところがあり、指定やむなし。</p> <p>犯罪行為ともとれる描写、脚を大きく開く描写、ひも等で拘束、道具の使用などの描写があり、指定やむなし。</p> <p>暴力的なシーンや同意の無い性交シーンが散見され、擬音、体液描写も多い印象だが、コミカルなストーリー展開により不思議と卑わい感を感じられない。性器の修整もギリギリのラインにはあるが、修整を加えて描かれている。保留。</p> <p>全体を通して暴力や拘束の描写が見られるが、画力もあり表情など、コミカルに見せていて、中和させている印象。性器の消しは形が見える部分もあるがギリギリのライン。全編大部分とはいえないと思う。ギリギリで指定非該当。</p> <p>性器の修整はされているものの、性交シーンが多く、体液や擬音描写も多い。ただ、各編登場人物の絵柄やキャラクターの割にあまり暴力的なシーンもなく、強制的な印象も感じられない。総合的に判断して指定非該当。</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年6月9日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>ミケプラスコミックス こんなことするとは聞いてない！</p> <p>令和3年6月7日発行</p>	<p>生活困窮者に高給を提示し、「モデルの仕事」を依頼した後、拘束の上、非同意のまま性行為におよび、その後被害者の個人情報と保護する考えもなく画像の電子出版を実施。さらにこの過程を全て「仕事」の文脈に位置づけてのセクハラ、それを恋愛と強弁する欺瞞は、重層的な「人格否定の美化」ととられても、いたしかたない。性器の描写も形状がわかる表現を続けている。指定該当。</p> <p>性描写はそれほど多くなく人物描写もきれいな絵柄で生々しさは感じられない。一方で、性器の描かれ方が他に比べて線が太く、トーン処理されており強調されていたため白棒修整部分の所が逆に目立っている。また、性行為の強制、人格否定に該当する場面が冒頭にある。指定やむなし。</p> <p>序盤にカメラ撮影をする場面があるが、脅しではなく仕事の要素。器具の使用も同様。男性器の消しが白線数本で、青年レベルを越えている。指定やむなし。</p> <p>絵柄もソフトで軽いタッチだが、職を失って困っている人にお金を払って、拘束して、それが恋愛に発展するというストーリーは、人格否定と捉えるのもやむを得ない。それ自体で条例に該当するかということとそこまでではないと思うが、性器を帯で消してほぼ見えている。これを許容するのは厳しい。指定該当。</p> <p>キャラクターに清潔感もあり、人格否定、暴力描写もなく、また全編大部分というには、性描写の数が少ないと感じる。ただ、男性器の修整がほとんどされていない部分もあり、男性器がここまで描写されるのは問題あると考える。指定やむなし。</p> <p>甘言で騙し、拘束した上で性行為におよび、その様子を写真に記録するなど、脅しのため手段とも取れる描写がある。このような性描写は青少年に、同意を得ずとも後でうまくおさめれば強引なセックスが認められるとの間違った価値観を与える恐れがある。性器の消しは甘く、ほとんど消していないものが多い。形状がはっきりと認められる。指定該当。</p> <p>一部の性器描写を除けば、一般的な漫画の範囲である。しかし、一部の性器については詳細に描いてはいないものの、修整や配慮が足りておらず、卑わい感はないにもかかわらず、露骨な印象を与える。指定該当。</p> <p>コミカルなストーリー展開により卑わい感はあまり感じられないが、性器の修整が線を数本描いただけで甘い印象。バイトと称して性交によって金銭の授受がある。映像を許可なく使用している。性的シーンは多くない印象だが指定該当。</p> <p>漫画のモデルの仕事が拘束しての強姦シーンと器具の使用、携帯での撮影。一方的なセックスの強要で人格否定につながる描写である。性器の形状がはっきり分かり修整はされていない。性描写は少なめであるが総合的に判断し指定該当。</p> <p>日給3万円で誘い、縛り、写真や個人情報を取る冒頭の場面。性器の形状が分かる。性交シーンが多いとは思えないが、漫画のモデルを承諾したらいかかわしい格好で写真撮影が始まる。総合的に判断し指定該当。</p> <p>漫画家とモデル、お金の支払いという関係を主体としながら恋愛的感情や性行為を重ね描くが、性器のボカシが少なく、お金を支払う者とそれを求める者の関係を利用した性行為の強要という面が強く人格否定的である。指定該当。</p> <p>ストーリー性もあり、性行為、体液描写なども決して多くはなく、一つの作品として一定のクオリティーはあると思う。ただし、性器の修整が非常に甘く、形状が分かるものがある。指定やむなし。</p> <p>修整がないのに等しく、性描写も多く指定やむなし。</p> <p>拘束する描写がある上に、ビジネスとはいえ、金銭を支払うことは違法性を阻却しない。何よりも性器の消しが甘くわいせつ。該当やむなし。</p> <p>性器は何本か線が入っているが、消しが甘く、逆に強調されているように感じる。ただ、全体的にストーリーはしっかりしていて、前半は多少強制的な描写もあるが、コミカルなタッチで卑わい感もあまりない。総合的に判断が難しい。保留。</p> <p>全体的に性交は多く感じない印象。性器の消しは、白棒抜きで形がわかるのは良くない。問題は携帯での撮影部分。犯罪につながる表現は避けてほしい。コミカルに見せている部分もあり、全体的な卑わい感を下げている。全編大部分とは言えないので指定非該当。</p> <p>性器の修整が甘いものの絵柄が淡白なこともあり卑わいさが少ない。冒頭の拘束や性交類似行為の描写が人格否定にあたるかどうかについては、条例第8条第1号の青少年の健全な成長を阻害するおそれがあるとまでは認められない。指定非該当。</p>